

AOI TORI BUNKO

講談社 青い鳥文庫

バイバイ スクール

—学校の七不思議事件—

はやみね かおる / 作 吾妻ひでお / 絵





講談社 青い鳥文庫

174-4

バイバイ スクール

——学校の七不思議事件——

はやみね かおる

1996年2月15日 第1刷発行

2000年4月17日 第9刷発行

(定価はカバーに表示してあります。)

発行者 野間佐和子

発行所 株式会社講談社

東京都文京区音羽2-12-21 郵便番号112-8001

電話 出版部 (03) 5395-3536

販売部 (03) 5395-3625

製作部 (03) 5395-3615

N. D. C. 913 226p 18cm

装 丁 久住和代

印 刷 図書印刷株式会社

製 本 図書印刷株式会社

© KAORU HAYAMINE 1996

Printed in Japan

本書の無断複写(コピー)は著作権法上
での例外を除き、禁じられています。

ISBN4-06-148440-0 (児二)

(落丁本・乱丁本は、講談社書籍製作部あてにお送
りください。送料小社負担にておとりかえます。)

■この本についてのお問い合わせは、講談社児童局
「青い鳥文庫」係にご連絡ください。



バイバイ スクール

——学校の七不思議事件——



はやみね かおる／作 吾妻ひでお／絵



講談社 青い鳥文庫

もくじ

手紙^{てがみ}みたいなプロローグ 5

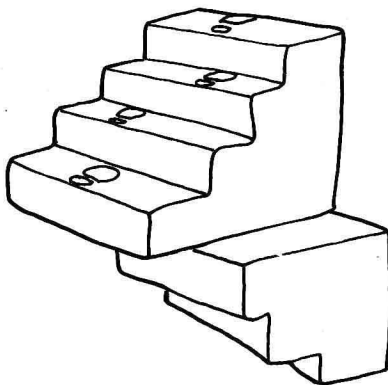
1 大奥^{おおおく}村^{むら}小学^{しょうがく}校^{がっこう}が廃^{はい}校^{こう}になる日^ひ 13

2 幽霊^{ゆうれい}バスのなぞ 30

3 ワコのおじいちゃん 58

4 大奥^{おおおく}小^{しょう}の先生^{せんせい}と生徒^{せいと}たち 65

5 かみなりさんのへそのゴマ 85



6 七不思議のうちの三不思議 107

7 きもだめし 120

8 十四段の階段が十三段にへる 147

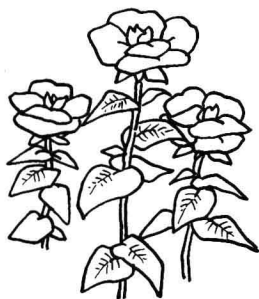
9 なぜ七不思議は起こった? 160

10 七不思議の犯人は? 172

11 七不思議のしかけ人 207

手紙みたいなエピローグ 218

あとがき 223



手紙^{てがみ}みたいなプロローグ

会^あったことのない「あなた」へ……………

宮沢^{みやざわ}和子^{かずこ}



あなたの学校^{がっこう}に、七不思議^{ななふしぎ}ってありますか？

えっ、「七不思議^{ななふしぎ}」ってなんのことかって？

ほら、だれもない音楽室^{おんがくしつ}からピアノの音^{おと}がするとか、ろうかの鏡^{かがみ}に血^ちだらけの顔^{かお}がうつるとか、学校^{がっこう}が建^たつ前は墓地^{ぼち}だったとか……。そういうのって、きいたことあるでしよ。

わかった？

それでね、わたしの学校^{がっこう}——大奥村^{おおおくむら}小学校^{しょうがっこう}にも七不思議^{ななふしぎ}があつてね。

ききたい？ まあ、そうあせらないで。

で、大奥村おおくむら小学校の七不思議ななふしぎのすごいところはね、よくある子どもだましの怪談話かいだんばなしじゃなくって、ほんとに起きるってことなの。

うそだらうって？

ほんとよ！ わたしたちは、ほんとに自分たちの目で見たの。

ここまで読んで、あなたが「おもしろそうだな。」って思ったら、どうぞ、この物語ものがたりを讀んでみてね。そして、どうしてこんな七不思議ななふしぎが起こったのかを、わたしたちと考かんがえてみましょう。

いい？

じゃあ、登場人物とうじょうじんぶつの紹介しょうかいをしましょう。

えっ、まだ物語ものがたりをはじめないのかって？

だって、わたし、長い物語ものがたりになると、登場人物とうじょうじんぶつの名まえがおぼえられなくて、だれがだれだかわからなくなるんだもん。だから、「自分じぶんで物語ものがたりを書くときは、そのページをあければ、ひと目でだれがだれだかわかる『登場人物とうじょうじんぶつの表』をつくるぞ。」って、きめてたの。

それをいまから書くね。

もし、これを読んでるあなたが、「登場人物? そんなもん一回読めば、おぼえられるよ。」という記憶力のいい人なら、どうぞ、さきへ進んでください。

だけど、わたしとおなじように登場人物をおぼえるのが苦手な人なら、このページに
しおりをはさんでおくといいいよ。

じゃ——。

《大奥村小学校の生徒たち》

●わたし——宮沢和子●

ほんとうは「和子」って名まえだけど、みんな「ワコ」ってよぶ。
大奥村小学校の六年生。身長百六十五センチ、体重四十五キロ。
よく中学生にまちがえられるくらい背が高い。(わたしは、低い子が
うらやましい。)好きなものは、アイスクリームと映画。だから、
映画館の中で映写機のカタカタいう音をききながらアイスクリーム





を食べてるときが最高にしあわせ。(もつとも、わたしの村に映画館はないけど……。)

● 川上桃子

桃子ちゃん。五年生。わたしの親友。円いめがねをかけた、かわいい子。そんなに勉強しているようには見えないけど、成績はとってもいい。学校全体のまとめ役。

● 小林葉介

通称ヨースケ。六年生。背はあんまり高くないけど、横に広がってるから、わたしよりも大きく見える。力は強い。でも、勉強のほうは、ちよつと、ね。大奥小のボス的存在。

● 江口直人

通称バリオ。六年生。本人にその気はないのに、学校のコメディアンのような子。背が高く、カッコいいし、ものすごい努力家だから、勉強もまあまあできる。でも、なんとなくオカシイ。



●法難功●
のりがたいきお

通称^{つうしょう}コウくん。六年生^{ねんせい}。今年^{ことし}のお正月^{しょうがつ}に転校^{てんこう}してきた。おとなしくて、勉強^{べんきょう}ができなくて、スポーツがダメで、力^{ちから}もない男^{おとこ}の子^こ。でもみんなは、コウくんがほんとうはすごい能力^{のうりよく}をもっていることを知っている。(その能力^{のうりよく}については、そのうち書^かくからね。)

●小林 由佳●
こばやし ゆか

一年生^{ねんせい}。ヨースケの妹^{いもうと}。さいわいなことにアニキにはぜんぜん似てなくて、とつてもかわいいマスコットのような存在^{そんざい}。なにかあるたびに、「ワコも一年生^{ねんせい}のときは、小さくて、かわいかったのにな……。」と比べられるのであまりおもしろくないけど、由佳^{ゆか}ちゃん
はかわいいので、ゆるしちゃう。

六年生^{ねんせい}が四人^{にん}。五年生^{ねんせい}が一人^{ひとり}。

四年生^{ねんせい}、三年生^{ねんせい}、二年生^{ねんせい}はいない。

そして、一年生^{ねんせい}がたった一人^{ひとり}。
以上の六人^{いじょうにん}が、大奥村小学校^{おおおくむらしょうがっこう}の全児童^{ぜんじどう}。

《大奥村小学校^{おおおくむらしょうがっこう}の先生^{せんせい}たち》

●校長^{こうちょう}（ボンポコリン）●

たぬきのようなスタイルから「ボンポコリン」というあだ名^ながついた。本名^{ほんみょう}はちゃんとおるんだらうけど、わたしは知らない。（たぶん、ヨースケたちも知らないと思う。）

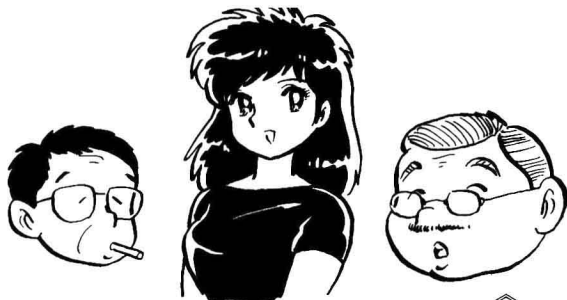
●風街美里^{かざまちみさと}●

わたしたちの担任^{たんぱん}の先生^{せんせい}。大奥小^{おおおくしょう}の教師^{きょうし}のなかでは、いちばん若く^{わか}て二十六歳^{さいい}。空手^{からて}の達人^{たつじん}。

●森口篤志^{もりぐちあつし}●

学校^{がっこう}の修理^{しゅうり}にかけては、大工^{だいく}さんよりじょうず。五十歳^{さい}。

●及川浩子^{おいかわひろこ}●





国語を教えるのが得意。とてもやさしくて、ぽっちやりした先生。

四十二歳。

●黒田敬一●

理科が好きで、いつも実験をしている。「未来の科学になう実験をしているんだ！」が口ぐせ。よくれた白衣がトレードマーク。

●賀呂博史●

図工の先生。絵がじょうずで、大きな展覧会でよく入選している。絵の好きな由佳ちゃんは、賀呂先生のファン。

●三村雅史●

音楽の先生。趣味はビデオ撮影。いつもカメラをまわして学校行事などを記録している。

ついでにいうと、黒田先生、賀呂先生、三村先生の三人は、みんな二十九歳で、みんな独身で、みんな風街先生にほれていて、おたがいにライバルをけ落とそうとアタックして

るんだけど、みんな相手にされてない。(かわいいそう……。)

こんなもんかな。

だれか紹介するのわすれてるかもしれないけど、
では、本編をはじめましょう。
思いだしたら、また書くね。

Are you ready? (ごうかな?)

1 大奥村小学校が廃校になる日

入道雲がソフトクリームみたい。

太陽も、ようやく山のむこうからその姿をぜんぶあらわした。

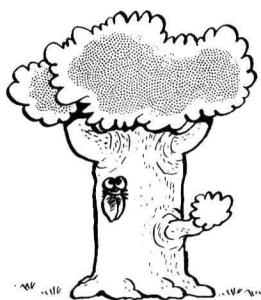
姿を見せる前から熱気だ

けをジリジリおくらせてくるなんて、ひきようだと思わない？

わたしは校庭のどまん中に、うでまくらをしてねっころがっていた。

空の青を二つに区切るように、切りだした材木を運ぶためのロープウエーのケーブルが、校庭の上を走っている。（このロープウエーは、山から学校と役場の上を通して、材木置き場の中州までのびている。）

横を見ると、鼻の高さまでのびた草がゆれている。手をのばして、四、五本ひっこぬいた。



わたしは、一学期末の『おわかれ記念の大掃除日』を思いだしていた。

脱水症状になりながら半日かけて草取りしたのに、もうこんなに草がはえちゃったのか……。

ねころんだまま、手がふれる範囲の草をむしる。

今日も、きのうとおなじ。暑くなりそう。そして、あしたからも、草はのびつつけるだろう。でも、みんなとブツブツいいながら草取りすることは、もうない……。

そのとき、校内放送がきこえてきた。

「ワコさん、すぐに体育館にきてください。終業式がはじまっちゃうよ。」

桃子ちゃんの声だ。(うちの学校は、校内放送を子どもたちが自由に使ってもよいことになってる。) わたしは立ちあがり、服のよこれをはらって、大きおくのびをする。

元気をだして！ なんといつても、今日で大奥村小学校はおわるんだから。最後の最後、ちゃんと胸をはって、悔いのないようにしよう。

七月二十一日——一学期の終業式の日。そして同時に、大奥村小学校が廃校になる日。

わたしは、学校がっこうってあんまり好きじゃなかった。とくに、テストと身体測定しんたいそくていのある日は、学校がっこうが火事かじにならないかなって思おもうくらいだった。（大奥小は三角屋根さんかくやねの古い木造校もくぞうがっこう舎しゃだから、きつとよくもえるぞ。）

でも去年きよねん、ほんとうに学校がっこうが廃校はいがっこうになるってきいたとき、胸むねがキュンとなった。

大奥村小学校おおくむらしょうがっこうが、なくなる……。

すぐにはわからなかったけど、由佳ゆかちゃんや桃子ももこちゃんが泣なきだして、わたしにも理り解かいできた。学校がっこうがなくなるってことは、悲かなしいことなんだ、さびしいことなんだって……。

テストや身体測定しんたいそくていがなくなるのはうれしいけど、給食きゅうしょくも、遠足えんそくも、運動会うんどうかいも、球技大きゅうぎだい会かいも、文化祭ぶんかさいも、プールも……、みんななくなっちゃうんだ。（いまわかったけど、学が校こうって、きれいな部分ぶぶんよりも、好きすな部分ぶぶんのほうが何倍なんばいも多いんだ。）

わたしたちは廃校はいがっこうに反対はんたいした。先生せんせいたちも、村むらの人たちも反対はんたいした。（うちのおじいちゃんなんか、鉄砲てつぽうまで持もちだしてきたもんね。）でも、どうにもならなかった。

今日きょう、七月しちがつ二十一日にちで、大奥村小学校おおくむらしょうがっこうの百十五年ひゃくごじゅうごねんの歴史れきしはとじられる。